

 YAMAHA



YPR-50

取扱説明書

MIDI

TOUCH
RESPONSE

STEREO
AMPLIFIED
PIANO

安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

記号表示について

△記号は、危険、警告または注意を示します。

⊘記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

●記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

*お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

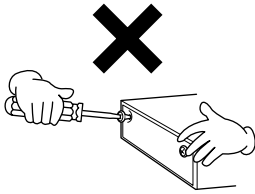
警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。感電や火災、または故障の原因になります。



電源アダプターコード/プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。(乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜く。) 感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



電源は必ず交流100Vを使用する。エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



電源アダプターを使用する場合は、指定の電源アダプター(PA-3B)以外は使用しない。(異なった電源アダプターを使用すると故障、発熱、発火などの原因になります。)



手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。感電やショートのおそれがあります。

注意

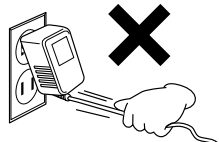
この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。



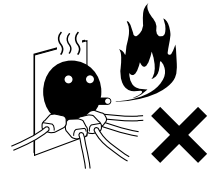
電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源アダプターコードに重いものをのせない。電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。



電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。電源アダプターコードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。



タコ足配線しない。音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。



使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。感電、ショート、発火などの原因になります。



乾電池はすべて+/-の極性表示通りに正しく入れる。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのするおそれがあります。

❗ 乾電池は一度に全部を交換する。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど)と一緒に使用しない。発熱、発火、液漏れの原因になります。

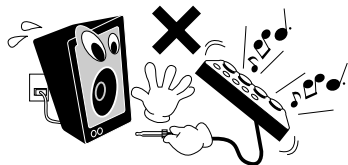
⊘ 乾電池を分解したり、火の中に入れてたりしない。乾電池の中のものが入ると危険です。また、火の中に入ると破裂するおそれがあります。

⊘ 使い切りタイプの乾電池は、充電しない。充電すると液漏れや破裂の原因になります。

❗ 長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いておく。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

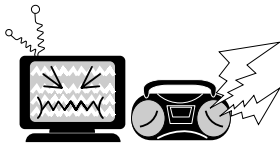
⊘ 乾電池は子供の手の届くところに置かない。お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。

❗ 他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小(0)にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。感電または機器の損傷のおそれがあります。



⊘ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。

⊘ テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



⊘ 不安定な場所に置かない。機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

❗ 本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

⊘ 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック/ゴム製品などを置かない。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

⊘ 本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

⊘ 同梱のスタンド以外は使用しない。また、取り付けには必ず付属のネジを使用する。本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

⊘ 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。聴覚障害の原因になります。



不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

また、使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

はじめに

このたびはヤマハ ポータブル ピアノYPR-50をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

YPR-50のさまざまな機能を使いこなしていただくために、この取扱説明書をご活用いただきますようご案内申し上げます。また、ご一読いただいた後も不明な点が生じた場合に備えて、大切に保管いただきますようお願い申し上げます。

YPR-50の特長

ヤマハのデジタルテクノロジーにより、リアルでダイナミックなサウンドを提供します。ステレオサンプリングによる高品質なグランドピアノをはじめ、エレクトリックピアノ、ハーブシコード、オルガン、ストリングスの5種類の楽器音を内蔵しています。

タッチ付きの76鍵盤により、表現豊かな演奏が可能です。

ピアノ伴奏機能により、簡単に自動伴奏付きのピアノ演奏がお楽しみいただけます。20種類の多彩なピアノ伴奏スタイルが用意されています。

代表的なピアノ曲を中心として、20曲のソングが本体内に収められています。CDプレーヤーのような感覚で、いつでも好きなソングを再生することができます。ソングの再生に合わせて右手/左手のパート別練習ができる機能などもあります。

本体内のソングを使ってピアノ演奏を練習したり、ピアノ伴奏スタイルを最大限にご活用いただけるよう、別冊のソングブックが用意されています。

ピアノ練習などにご活用いただけるメトロノーム機能を搭載しています。さまざまな拍子やテンポを設定することができます。

他のMIDI機器と接続してシステムを拡張することができるMIDI端子や付属のフットスイッチを接続する端子がリアパネルにあります。

余裕の発音数(最大同時発音数32音)で演奏できます。

高音質なステレオアンプ/スピーカーを本体に内蔵しています。



音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

ヘッドフォンをご使用になる場合は、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

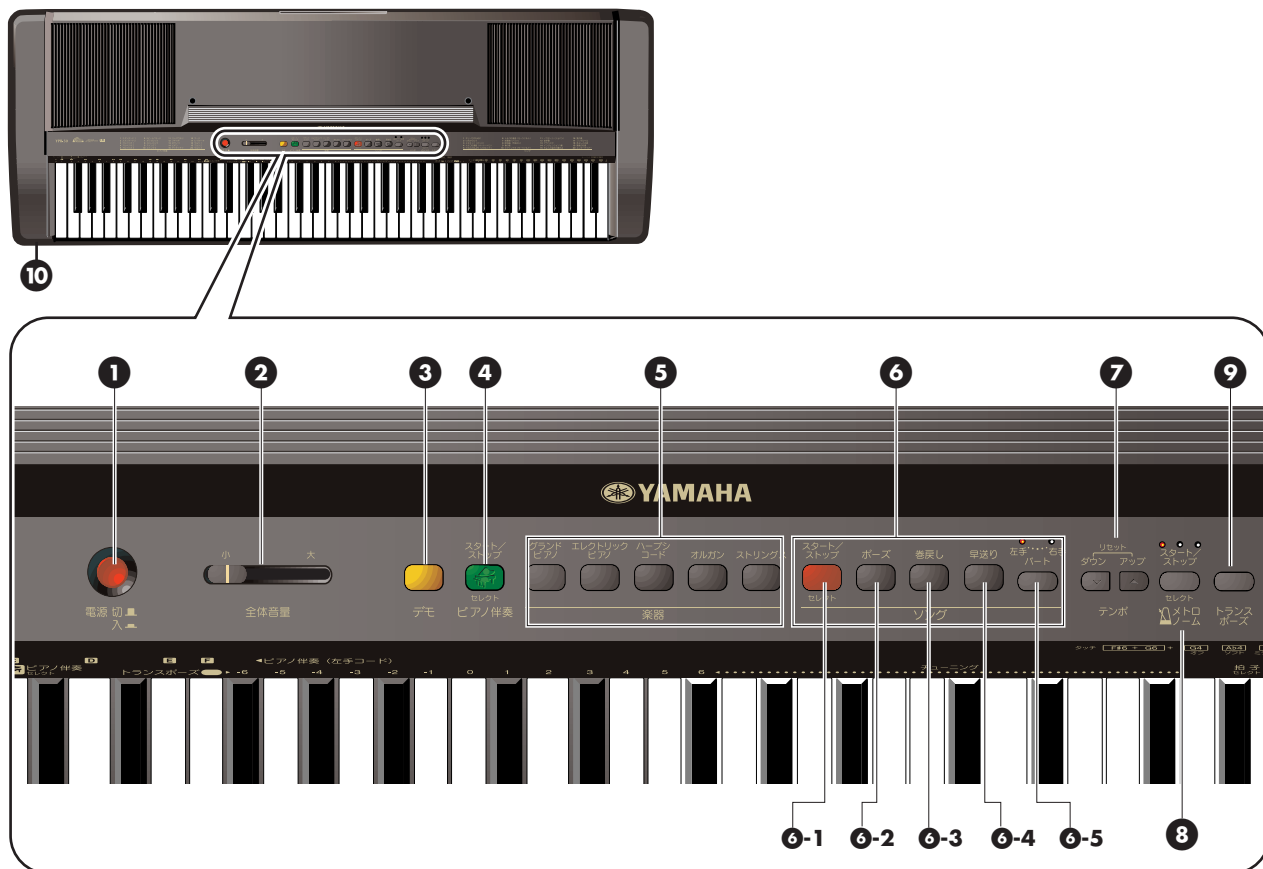
目次

YPR-50の特長	4	メトロノーム	21
各部の名称と機能.....	6	メトロノームのテンポ調節とスタート/ストップ	21
ご使用前の準備.....	8	メトロノームの拍子設定.....	22
電源の準備.....	8	設定のしかた.....	22
付属端子について	9	ピアノ伴奏機能	23
譜面立ての取り付け方	9	ピアノ伴奏のパターンを選んでピアノ伴奏をスタート.....	23
クイックガイド		和音の押さえ方	24
まず音を出してみよう!	10	シングルフィンガー	24
メトロノームを使ってみよう!.....	11	フィンガード.....	25
その他の便利機能!.....	11	ソングコントロール.....	26
クイックガイド		セレクト(スタート/ストップ).....	26
ソング(曲)を鳴らしてみよう	12	ポーズボタン.....	26
20曲続けて鳴らしてみよう!	12	巻戻しボタン.....	26
ソングの再生をコントロール!.....	12	早送りボタン.....	26
1曲ずつ選んで鳴らしてみよう!.....	13	パート(左手/右手)のオン/オフ.....	26
クイックガイド		MIDI	27
ソングをお手本にして練習してみよう!.....	14	MIDIについて	27
パート別に再生してみよう	14	MIDIを使ってできること	27
ビートランプについて.....	14	ピアノ伴奏の初期テンポ	28
テンポ(速さ)を変えてみよう!.....	15	故障かな?と思ったら.....	28
メトロノームを使ってみよう!.....	15	仕様	29
クイックガイド		オプション(別売)商品のご紹介.....	29
ピアノ伴奏を使って弾いてみよう.....	16	キーボードスタンドの組み立て方.....	30
テンポ(速さ)を変えてみよう!.....	16	MIDIインプリメンテーションチャート	32
メトロノームを使ってみよう!.....	17	保証とアフターサービス	33
メビートランプについて.....	17		
トランスポーズ	18		
設定のしかた.....	18		
チューニング	18		
設定のしかた.....	18		
タッチ	20		
設定のしかた.....	20		

*この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。

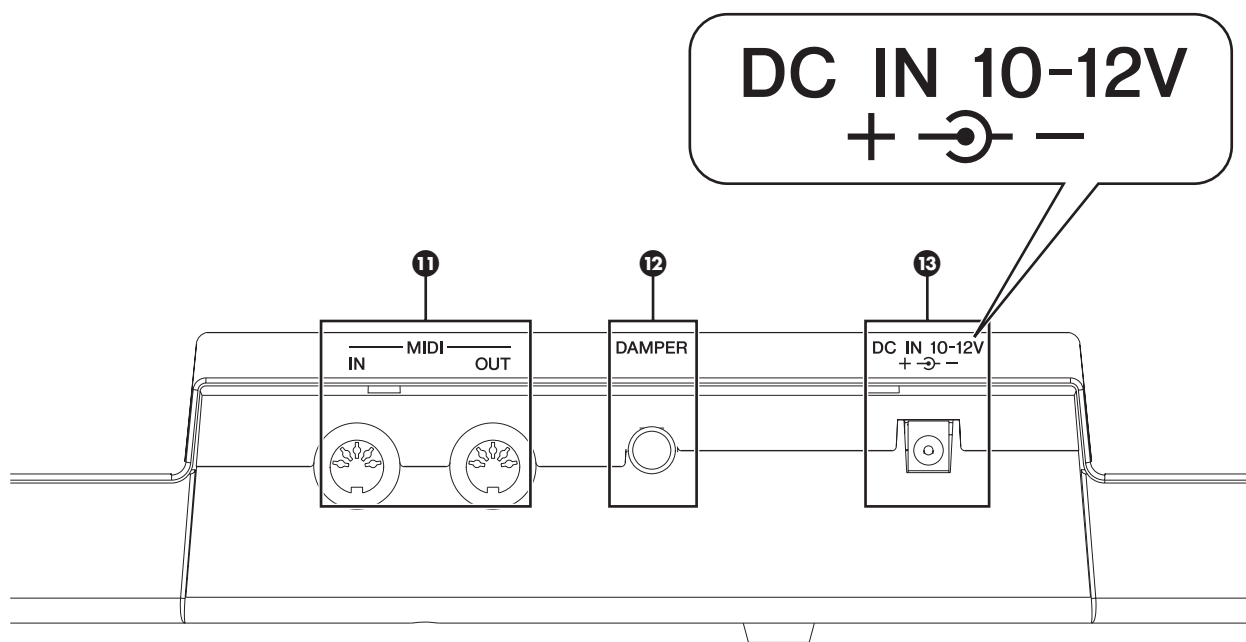
各部の名称と機能

フロントパネル



- ① 電源入/切スイッチ**
- ② 全体音量コントロール**
YPR-50全体の音量を調節します(P.10)。
- ③ デモボタン**
ソングの連続再生をスタート/ストップします(P.12)。
- ④ ピアノ伴奏ボタン(スタート/ストップ、セレクト)**
ピアノ伴奏機能をオン/オフします。また、このボタンを押しながら、伴奏ナンバーに対応した鍵盤(E0～B1)を押すことにより、特定のピアノ伴奏スタイルを選ぶことができます(P.16、23)。
- ⑤ 楽器ボタン(グランドピアノ、エレクトリックピアノ、ハープシコード、オルガン、ストリングス)**
演奏したい楽器を選びます(P.11)。
- ⑥ ソングボタン**
ソングの再生をコントロールします(P.12、13、26)。
- ⑥-1 セレクトボタン(スタート/ストップ)**
ソングの再生をスタート/ストップします。またこのボタンを押しながら、ソングナンバーに対応した鍵盤(C5～G6)を押すことにより、特定のソングを選ぶことができます(P.13、26)。
- ⑥-2 ポーズボタン**
ソングの再生中に押すと、ソングの再生を一時停止します。もう一度押すと停止位置から再スタートします(P.12、26)。
- ⑥-3 巻戻しボタン**
小節単位でソングを巻戻します(P.13、26)。
- ⑥-4 早送りボタン**
ソングを早送りします(P.13、26)。
- ⑥-5 パートボタン**
ソングの右手/左手パートを個別に再生させることができます(P.14、26)。
- ⑦ テンポボタン(ダウン、アップ)**
ソングやピアノ伴奏のテンポ(速さ)を調節します。またこの2つのボタンを押しながら、テンポ値に対応した鍵盤(E♭5～G6)を押すことにより、特定のテンポ値をダイレクトに選ぶことができます(P.15、21)。
- ⑧ メトロノームセレクトボタン(スタート/ストップ)**
メトロノーム機能をスタート/ストップします。また、拍子を選択するのに使われます(P.15、21)。
- ⑨ トランスポーズボタン**
このボタンを押しながら、トランスポーズ値に対応した鍵盤(F#2～F#3)を押すことにより、YPR-50全体の音程を半音単位で移動することができます(P.18)。
- ⑩ PHONES/OUTPUT(ヘッドフォン/出力)端子**
ステレオヘッドフォンまたは外部オーディオシステム(アンプ/スピーカー)への接続に使用します(P.9)。ステレオ標準プラグ仕様です。

リアパネル



11 MIDI IN/OUT 端子

外部MIDI機器とMIDIデータのやり取りを行なう端子です(P.9、27)。

12 DAMPER(ダンパー)端子

付属のフットスイッチを接続します。ダンパーペダル効果を付けることができます。

13 DC IN 10-12V端子

付属のACアダプター(PA-3B)を接続します。

*「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。

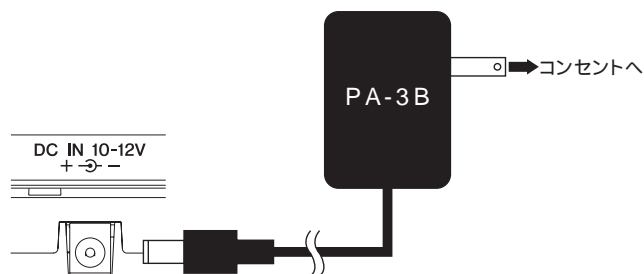
ご使用前の準備

電源の準備

YPR-50は、電源として、電源アダプターか乾電池を使用することができますが、基本的には付属のACアダプター(PA-3B)をご使用になることをおすすめします。

家庭用コンセントから電源をとるときは

1. 付属のACアダプター(PA-3B)のプラグを、リアパネルにあるDC IN 10-12V端子に差し込みます。
2. アダプターの電源プラグを電源コンセント(AC100V)に差し込みます。



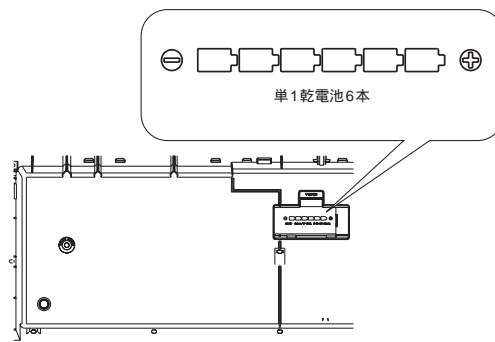
⚠ 電源アダプターをご使用になる場合は、必ず付属の専用アダプターPA-3Bをご使用ください。他の電源アダプターの使用は、故障、発熱、発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。

⚠ 使用しないときや落雷の恐れがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

乾電池を使うときは

乾電池をセットする

1. 本体を裏返し、電池ボタンを外します。このとき、本体を傷つけないよう柔らかい布などの上で作業することをおすすめします。
2. 市販の単1乾電池を6本入れます。向きを間違えないように注意してください。
3. 電池ボタンを閉めます。



乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、YPR-50の音量が小さくなったり、音質が劣化したりします。このようなときは、以下のことに注意してすぐに新しい乾電池と交換してください。

⚠ 乾電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れてない場合、発熱、発火、液漏れの恐れがあります。

⊘ 乾電池は一度に全部を交換してください。新しいものと古いものを一緒に使用したり、種類の異なるもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーが同じでも商品が異なるものなど)と一緒に使用しないでください。発熱、発火、液漏れの原因になります。

⚠ 長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いてください。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷する恐れがあります。

同梱品リスト

YPR-50には以下の同梱品が付属しています。ご確認ください。

- 本体
- 電源アダプター(PA-3B)
- 譜面立て
- キーボードスタンド
- フットスイッチ(FC5)
- 取扱説明書(本書)
- ソングブック
- 保証書

付属端子について

PHONES/OUTPUT(ヘッドフォン/外部出力)端子

ステレオヘッドフォンを接続します。YPR-50の内蔵スピーカーからは音が出なくなります。夜間や大きな音が出せない環境での練習などに便利です。

また、この端子は外部出力端子として使用することもできます。キーボードアンプ、オーディオシステム、ミキシングコンソールなどの入力端子と接続することにより、YPR-50のサウンドを外部機器で鳴らすことができます。

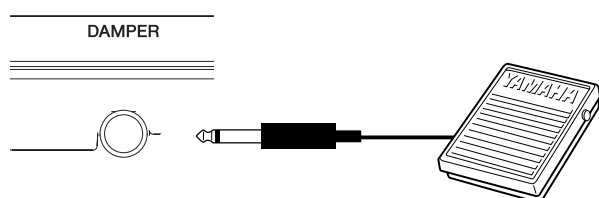


YPR-50を外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で接続してください。感電、または機器損傷の恐れがあります。また、再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、電源を切る前や入れる前に外部機器の音量を最小にしてください。



大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

DAMPER(ダンパー)端子

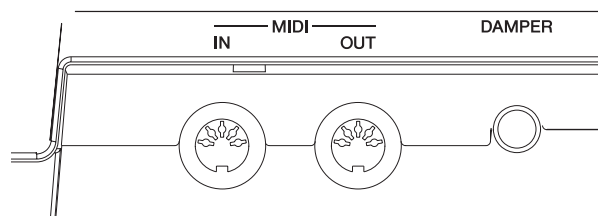


付属のフットスイッチを接続します。アコースティックピアノのダンパーペダルと同じような効果(弾いた音に余韻を付け加える効果)をつけることができます。

NOTE DAMPER(ダンパー)端子にフットスイッチを接続してから電源を入れてください。

NOTE フットスイッチを踏みながら電源を入れないでください。フットスイッチの働き(オン/オフの動作)が逆になってしまいます。

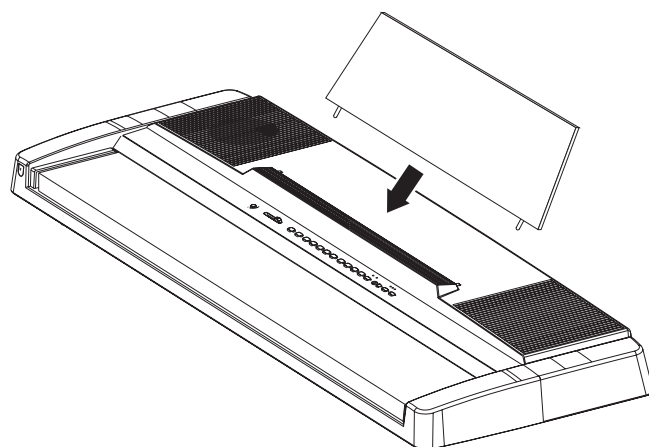
MIDI端子



MIDIケーブルを使って外部機器と接続することにより、YPR-50の演奏を録音/再生したり、外部MIDI機器からYPR-50をコントロールすることができます。詳しくは後述(P.27)をご参照ください。

譜面立ての取り付け方

図のように、譜面立ての下にある2つの突起をYPR-50のパネル中央にある2つの穴に合わせて差し込んでください。



まず音を出してみよう!

YPR-50には、ステレオサンプリングによる高音質なピアノサウンドをはじめ、臨場感あふれるストリングスサウンドなど計5種類の実感的な楽器音が内蔵されています。さっそく下の手順に従ってすばらしいサウンドの世界を体験してみましょう。

1. 電源オン!

電源入/切スイッチを押して、電源を入れます。もう一度電源入/切スイッチを押すと、電源が切れます。

NOTE 電源入/切スイッチが「切」の状態でも微電流が流れています。YPR-50を長時間ご使用にならない場合は必ず電源アダプターを抜いてください。また、乾電池を使用している場合は乾電池を本体から取り外してください。



電源 切
入

2. 音量を調節しよう!

全体音量コントロールを左右方向に動かして、音量を調節します。

右方向に動かすと、音量が大きくなります。
左方向に動かすと、音量が小さくなります。



全体音量

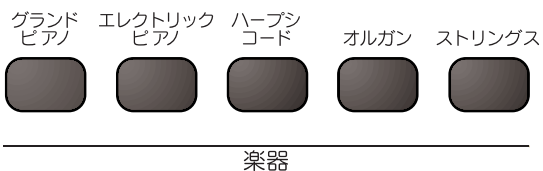
3. さあ、弾いてみよう!

YPR-50の鍵盤は、E0～G6(76鍵)の広い音域を持っています。また、弾いた強さに応じて、発音の強弱が付くようになっています(タッチ)。さっそく弾いてみましょう。

NOTE タッチ感度は調節することができます。詳しくはP.20をご参照ください。

楽器を選ぼう!

楽器ボタンを押して、弾きたい楽器を選びます。

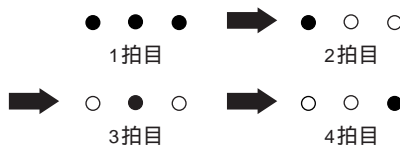


メトロノームを使ってみよう!

メトロノーム機能を使うと、演奏のタイミングを取るのに便利です。

メトロノームスタート/ストップボタンを押すと、現在設定されているテンポに合わせてメトロノーム音が鳴り出します。もう一度メトロノームスタート/ストップボタンを押すと、メトロノームがストップします。

NOTE メトロノームが鳴っている時は、拍に合わせてビートランプが点滅します。また、メトロノームの拍子を設定したり、テンポ(速さ)を調節することもできます。詳しくはP.22をご参照ください。



その他の便利機能!

YPR-50は、他にも演奏時に役立つ便利機能があります。

トランスポーズ機能(P.18)

弾く鍵盤を変えなくても簡単に移調することができます。

チューニング機能(P.18)

他の楽器と合奏するときなど、微妙な音程の違いを調節することができます。

フットスイッチ(P.9)

付属のフットスイッチを使うと、弾いた音に余韻を付けることができます。



ソング(曲)を鳴らしてみよう

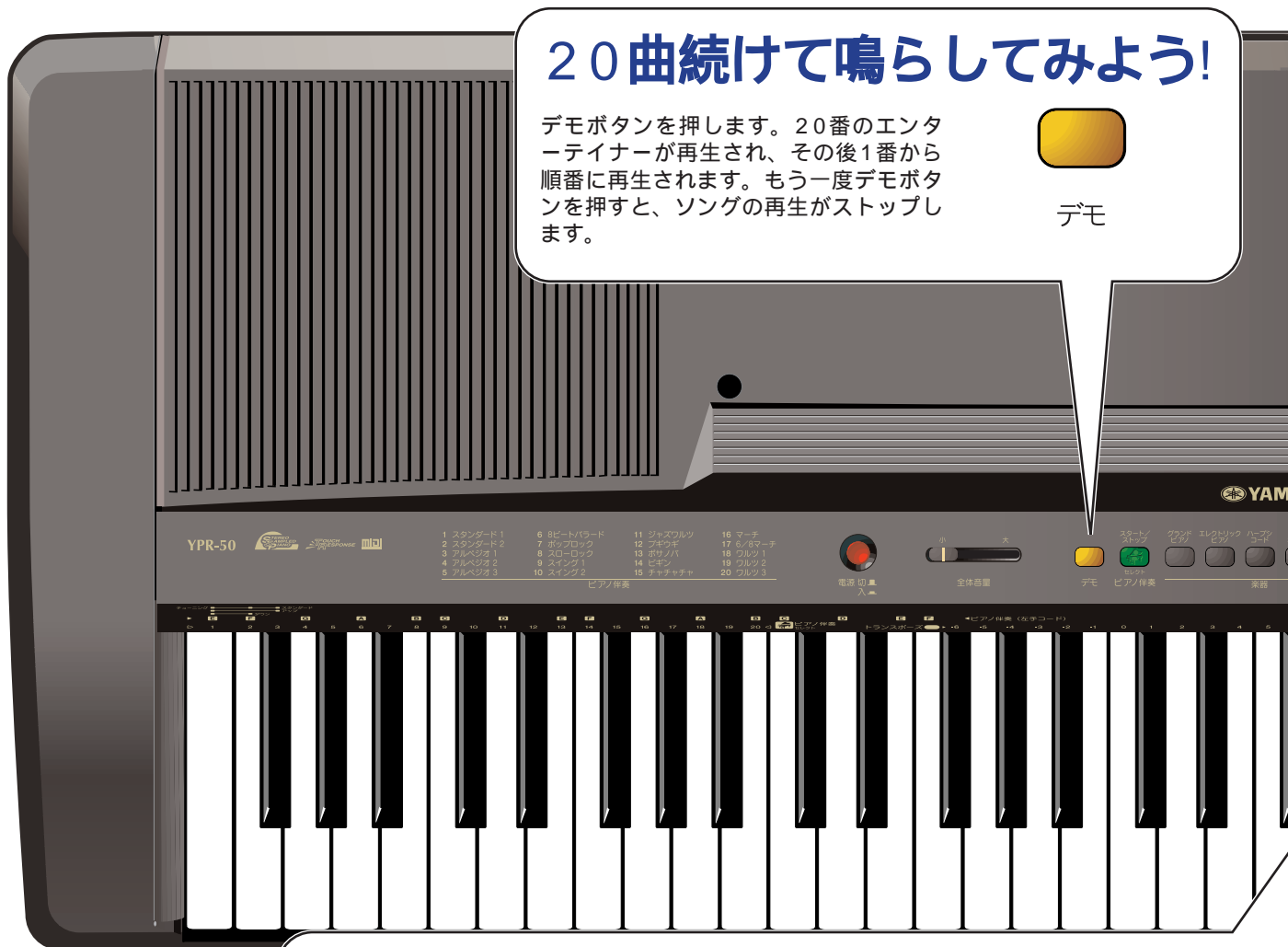
YPR-50には、代表的なピアノ曲やクリスマスソングなど、20曲が収められています。ソング20曲を連続で鳴らしたり、いずれか1曲を選んで鳴らすこともできます。また、特定の曲を鳴らしている場合、早送りしたり、巻戻したり途中から鳴らしてみたりなど、CDプレーヤーのような感覚で演奏をコントロールすることができます。

20曲続けて鳴らしてみよう!

デモボタンを押します。20番のエンターティナーが再生され、その後1番から順番に再生されます。もう一度デモボタンを押すと、ソングの再生がストップします。



デモ



ソングの再生をコントロール!

ポーズ



巻戻し



早送り



CDプレーヤーのように、簡単な操作でソングの再生をコントロールすることができます。

ポーズボタン

ソングの再生中にポーズボタンを押すと、現在の再生位置で一時停止します。もう一度ポーズボタンを押すと、停止していた位置からソングの再生がスタートします。



1曲ずつ選んで鳴らしてみよう!

ソングボタンを押しながら、ソングナンバー1~20に対応した鍵盤(C5~G6)を押して、鳴らしたいソングを選びます。ソングボタンから指を離すと、選んだソングがスタートします。もう一度ソングボタンを押すとストップします。

NOTE 曲を選ばずに、ソングボタンを押した場合、以前選ばれていたソングがスタートします。

1 エリーゼのために	6 トルコ行進曲 (モーツァルト)	11 ノクターン (ショパン)	16 雲の夢
2 小犬のワルツ	7 前奏曲 (バッハ)	12 紡ぎ歌	17 ジングルベル
3 メヌエット (バッハ)	8 即興曲 作品90-2	13 アラベスク	18 きよしこの夜
4 トルコ行進曲 (ベートーベン)	9 春の歌	14 インヴェンション1番	19 聖者の行進
5 アルルの女より「メヌエット」	10 ピアノソナタ (モーツァルト)	15 主よ人の望みの喜びよ	20 エンターティナー

ソング



巻戻しボタン

ソングの再生中/停止中に関わらず、巻戻しボタンを押すと(または押しっぱなしにすると)、小節単位でソングを巻戻します。巻戻しボタンから指を離すと、その小節位置からソングが再スタートします。

早送りボタン

ソングの再生中/停止中に関わらず、早送りボタンを押すと(または押しっぱなしにすると)、ソングを早送ります。再生中に早送りボタンを押すと高速再生しながら早送ります。

NOTE 一時停止中に巻戻し/早送りボタンを押すと、小節単位で移動します。再スタートはセレクト(スタート/ストップ)ボタンを押します。

NOTE 巻戻し中には、ソングは再生されません。





ソングをお手本にして練習してみよう

ソングは、テンポ(速さ)を変えて再生させたり、右手と左手のパートを別々に再生させることができます。別冊のソングブックにはすべてのソングの楽譜が掲載されていますので、それらの楽譜を併用してソングの演奏にトライしてみましょう。

パート別に再生してみよう

ソングの左手パートと右手パートを別々に再生させることができます。たとえば、左手パート(伴奏パート)だけを再生させ、それに合わせて右手パート(メロディ)を手弾き練習する場合などに便利です。

パートボタンを押すたびに、両パート再生(通常の状態) 左手パート再生 右手パート再生と3つの再生方法が切り替わります。現在どの再生方法が選ばれているかは、パートランプの点灯で確認することができます。

両方のパートが再生されます。
(通常のソング再生状態です)



左手パートだけが再生されます。



右手パートだけが再生されます。



● ○
左手 …… 右手
パート

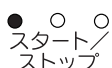


NOTE ソングの再生中でもパートを変更することができます。



ビートランプについて

ソングの再生中には、設定されたテンポに合わせてビートランプが点滅します。



1 拍目

2 拍目

3 拍目

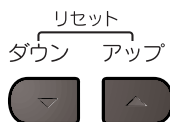
4 拍目

テンポ(速さ)を変えてみよう!

ソングは、自分の好きなテンポで再生させることができます。たとえば、ソングの再生に合わせて練習する場合に、自分の演奏しやすいテンポに変えてみたり、演奏音を耳で確認するためにテンポを遅くしてみる場合などに便利です。

テンポの調節(1)

テンポアップ/ダウンボタンを押して、ソングのテンポを調節します。



テンポアップボタンを押すたびに、少しずつテンポが速くなります。

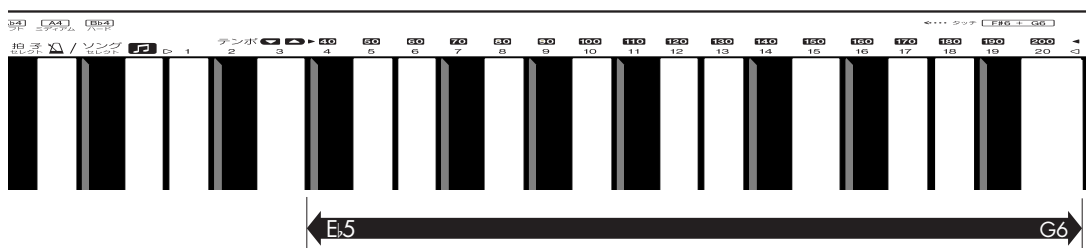
テンポダウンボタンを押すたびに、少しずつテンポが遅くなります。

テンポアップボタンとテンポダウンボタンを同時に押すと、現在選ばれているソングの元のテンポ(初期値)に戻ります。

テンポ

テンポの調節(2)

テンポアップボタンとテンポダウンボタンを同時に押したまま、テンポ値 ♩=40~200(1分間の4分音符の数)に対応した鍵盤(E♭5~G6)を押して、変更したいテンポ値を選びます。この方法は一度に大きくテンポを変化させる場合に便利です。



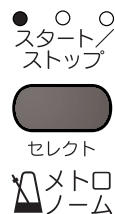
メトロノームを使ってみよう!

演奏のタイミングが取りにくいソングやパート別の練習をするときには、メトロノーム機能を使うと便利です。ソングに合った拍子とテンポでメトロノーム音が鳴ります。

メトロノームスタート/ストップボタンを押すと、現在のソングのテンポに合わせてメトロノーム音が鳴り出します。もう一度メトロノームスタート/ストップボタンを押すと、メトロノームがストップします。

NOTE メトロノームをストップしても、ソングの再生はそのまま続きます。

NOTE ソングの停止中にメトロノームだけを鳴らすこともできます。この場合、メトロノームの拍子を設定したり、テンポ(速さ)を調節することもできます。詳しくはP.22をご参照ください。



ピアノ伴奏機能を使って弾いてみよう

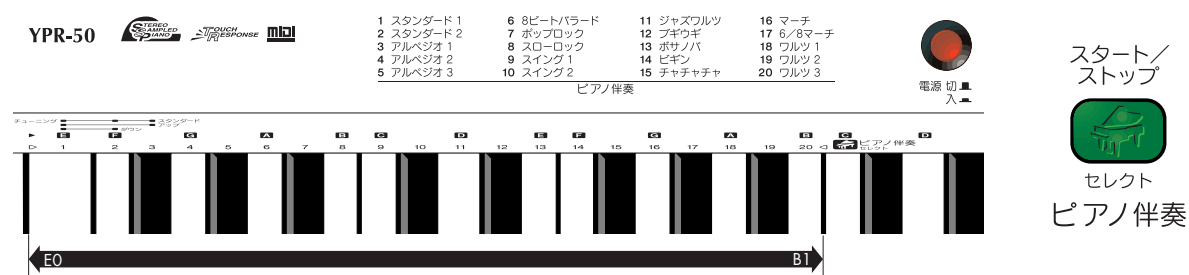
ピアノ伴奏機能は、左手で和音を押さえるだけで、その和音に合ったピアノ伴奏が自動的に鳴る機能です。ピアノ伴奏に合わせて右手でメロディ演奏がお楽しみいただけます。20種類のさまざまなピアノ伴奏のパターンが用意されています。

1. ピアノ伴奏のパターンを選ぼう!

ピアノ伴奏ボタンを押しながら、伴奏ナンバー1~20に対応した鍵盤(E0~B1)を押して、鳴らしたいピアノ伴奏のパターンを選びます。これで、ピアノ伴奏の待機状態になります。

NOTE ピアノ伴奏ボタンだけを押した場合、以前に選ばれていたピアノ伴奏のパターンで待機状態になります。

NOTE ピアノ伴奏の待機状態で、もう一度ピアノ伴奏ボタンを押すと、ピアノ伴奏の待機状態は解除されます。

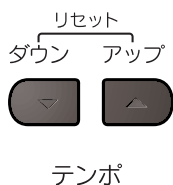


3. エンディングパターンでストップ!

ピアノ伴奏ボタンをもう一度押すと、現在押さえている和音に合ったエンディングパターンでピアノ伴奏がストップします。

テンポ(速さ)を変えてみよう!

通常、ピアノ伴奏のパターンを選ぶと、選んだピアノ伴奏パターンに最適なテンポが自動的に設定されるようになっています。ピアノ伴奏は自分の好きなテンポで再生させることができますので、練習の場合など、最初はテンポを遅くしてみるとよいでしょう。



テンポの調節(1)

テンポアップ/ダウンボタンを押して、ピアノ伴奏のテンポを調節します。

テンポアップボタンを押すたびに、少しずつテンポが速くなります。テンポダウンボタンを押すたびに、少しずつテンポが遅くなります。テンポアップボタンとテンポダウンボタンを両方向同時に押すと、現在選ばれているソングの元のテンポ(初期値)に戻ります。

テンポの調節(2)

テンポアップボタンとテンポダウンボタンを両方向同時に押したまま、テンポ値 $J = 40 \sim 200$ (1分間の4分音符の数) に対応した鍵盤(E^b5 ~ G6)を押して、変更したいテンポ値を選びます。この方法は一度に大きくテンポを変化させる場合に便利です。

2. 伴奏鍵域を押さえてピアノ伴奏をスタート!

伴奏鍵域を弾くと、ピアノ伴奏がスタートします。ピアノ伴奏に合わせて、伴奏鍵域以外の鍵盤でメロディを演奏します。

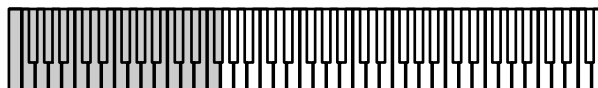
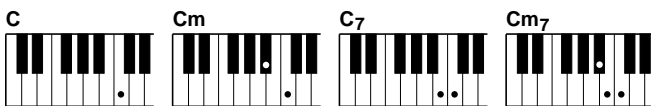
NOTE 和音の押さえ方について詳しくはP.24をご参照ください。

NOTE ピアノ伴奏の再生中に別のピアノ伴奏パターンを選ぶこともできます。

和音の押さえ方

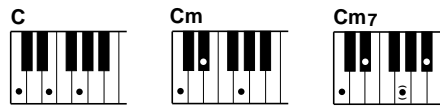
ピアノ伴奏での和音の押さえ方には、シングルフィンガーとフィンガードの2種類があります。

指1~3本でピアノ伴奏ができる簡単な押さえ方です。1本の指でメジャーコード、2本の指でマイナーコードやセブンスコード、3本の指でマイナーセブンスコードのピアノ伴奏をすることができます。

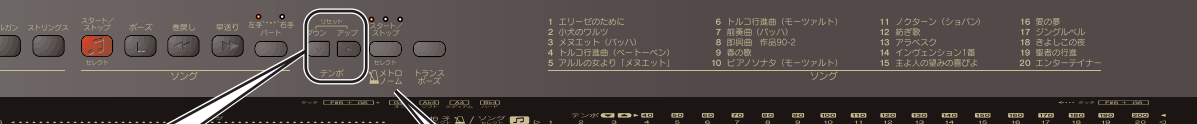


アカンパニメントセクション

一般的な和音の押さえ方でピアノ伴奏をすることができます。



YAMAHA



メトロノームを使ってみよう!

演奏のタイミングが取りにくいときには、メトロノーム機能を使うと便利です。ピアノ伴奏パターンを選ぶと、そのパターンに合った拍子とテンポが設定されます。

メトロノーム機能のオン/オフ

ピアノ伴奏中にメトロノームスタート/ストップボタンを押すと、現在設定されているテンポでメトロノーム音が鳴り出します。もう一度メトロノームスタート/ストップボタンを押すと、メトロノームがストップします。

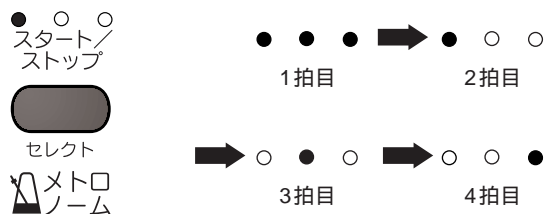
NOTE メトロノームをストップしても、ピアノ伴奏はそのまま続きます。

NOTE ピアノ伴奏の停止中にメトロノームだけを鳴らすこともできます。この場合、メトロノームの拍子を設定したり、テンポ(速さ)を調節することもできます。詳しくはP.15、22をご参照ください。



ビートランプについて

ピアノ伴奏中には、設定されたテンポに合わせてビートランプが点滅します。



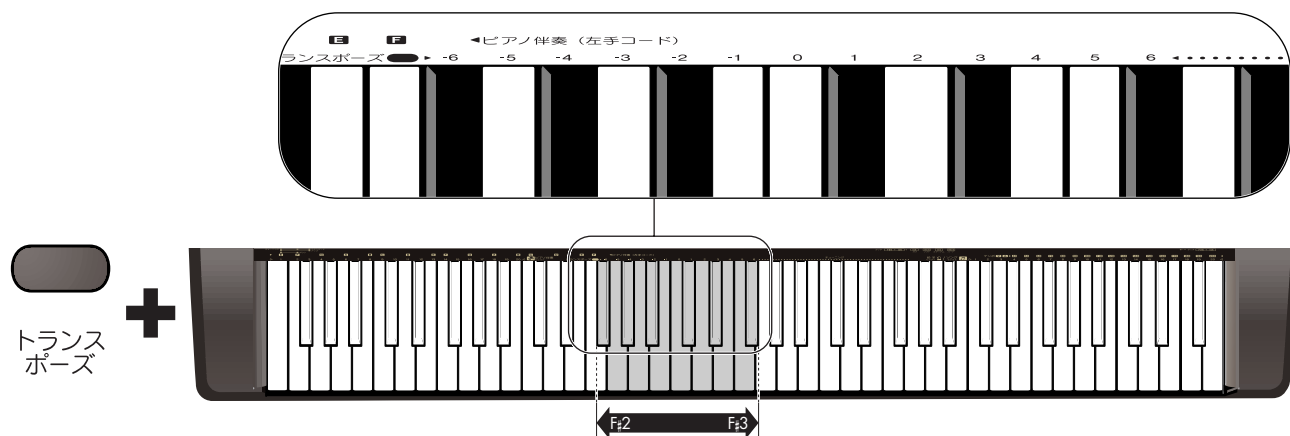
トランスポーズ

YPR-50全体の音程を、半音単位で変更します(移調)。他の楽器や歌声に合わせて演奏するときなどに便利です。

設定のしかた

トランスポーズボタンを押しながら、トランスポーズ鍵域の-6半音～0(標準音程)～+6半音に対応した鍵盤(F#2～F#3)を押して、移調します。

トランスポーズ鍵域の各鍵盤の上には対応するトランスポーズ値が示されています。例えば、トランスポーズボタンを押しながら、トランスポーズ鍵域のD3の鍵盤(2)を押すと、鍵盤全体が半音2個分の音程が上がります。



NOTE ソングの再生中やピアノ伴奏機能を使用しているときは、トランスポーズ値を変更することはできません。

NOTE トランスポーズを0以外に設定してソングを再生させると、オクターブが変わって再生される場合があります。

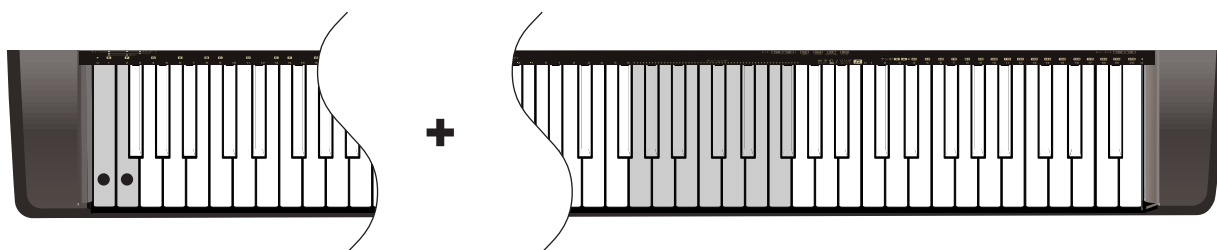
チューニング

YPR-50全体の音程を約-50セントから+50セントの範囲で微調節することができます(100セント=半音)。合奏のときなど、他の楽器音との微妙な音程のずれを修正するとき便利です。

設定のしかた

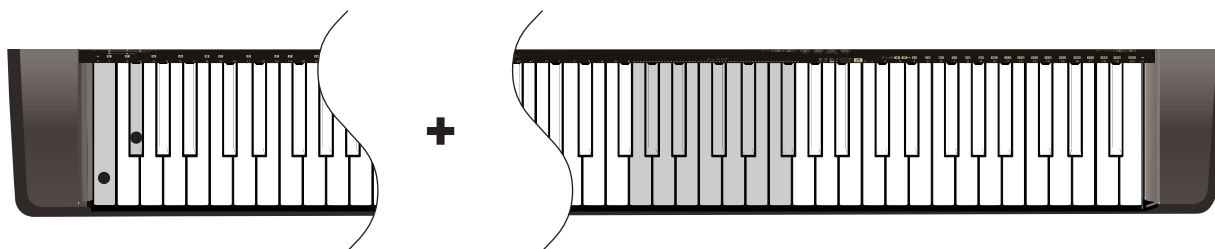
音程を下げる

一番左端の白鍵2つを同時に押しながら、チューニング鍵域(G3～F#4)のいずれかの鍵盤を押します。1回押すごとに少しずつ音程が下がります。また、チューニングランプが点灯し現在のチューニングの状態を示します(下記参照)。音を聞きながらこきざみに音程を下げて調節してください。



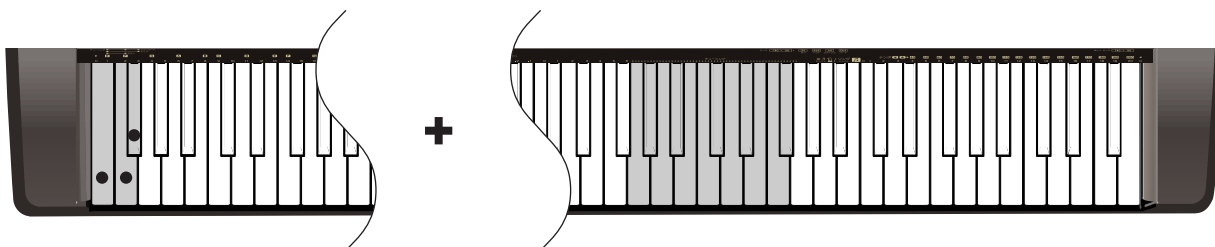
音程を上げる

一番左端の白鍵と黒鍵を同時に押しながら、チューニング鍵域(G3～F#4)のいずれかの鍵盤を押します。1回押すごとに少しずつ音程が上がります。また、チューニングランプが点灯し現在のチューニングの状態を示します(下記参照)。音を聞きながらこきざみに音程を上げて調節してください。



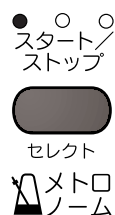
標準音程に戻す

一番左端の白鍵2つと黒鍵1つを同時に押しながら、チューニング鍵域(G3～F#4)のいずれかの鍵盤を1回押します。標準の音程(0)に戻ります。



チューニングランプの表示について

チューニングの状態に応じて、次のようにランプが点灯します。



上がる



標準音程



下がる

ランプ	チューニングの値
○ ○ ●	50
○ ● ●	1 ~ 49
○ ● ○	0
● ● ○	-49 ~ -1
● ○ ○	-50

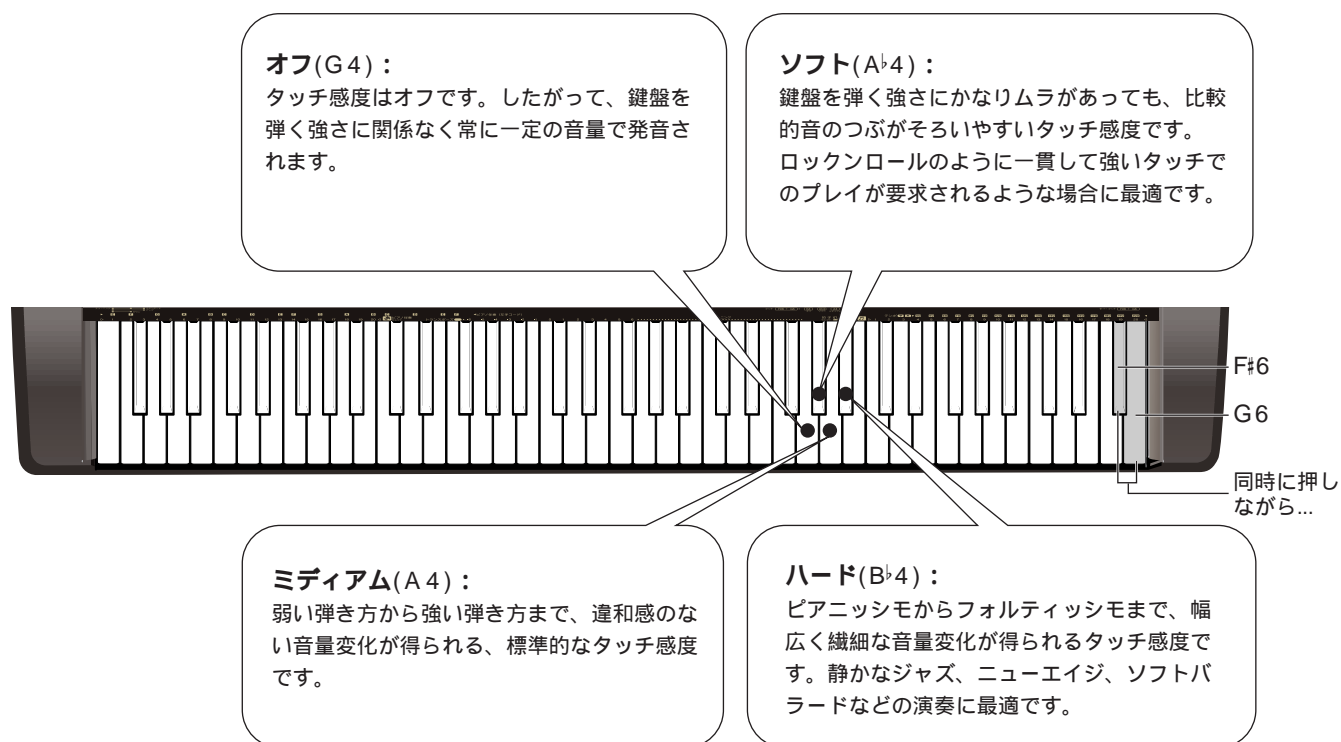
NOTE ピアノ伴奏機能を使用しているときは、チューニングの値を変更することはできません。

タッチ

鍵盤を弾くタッチで音量を変える機能です。3種類のタッチ感度から選ぶことができます。演奏する曲やご自分の好みによって使い分けてください。

設定のしかた

一番右端の白鍵(G6)と黒鍵(F#6)を同時に押しながら、タッチ感度を設定する鍵盤(G4 ~ B \flat 4)を押します。たとえば、白鍵(G6)と黒鍵(F#6)を同時に押しながら、A \flat 4の鍵盤を押すと、タッチ感度はソフトに設定されます。



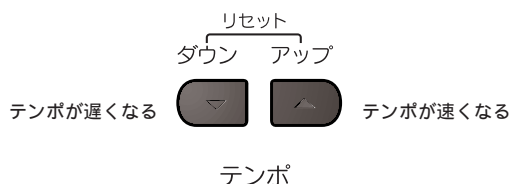
メトロノーム

ピアノの練習などで一定のテンポに合わせて演奏する場合に、メトロノーム機能を使うと便利です。

メトロノームのテンポ調節とスタート/ストップ

① メトロノームのテンポを設定する

テンポアップ/ダウンボタンを押して、メトロノームのテンポを調節します。



テンポアップボタンとテンポダウンボタンを両方同時に押すと、現在選ばれているソングやピアノ伴奏の元のテンポ(初期値)に戻ります。

NOTE テンポ調節について詳しくは、前述(P.15)をご参照ください。

② メトロノームをスタートする

メトロノーム スタート/ストップ ボタンを押します。設定したテンポに合わせてメトロノーム音が鳴り出します。



メトロノーム機能がオンになっているときは、メトロノーム音に合わせてビートランプが点滅します。



③ メトロノームをストップする

もう一度メトロノーム スタート/ストップ ボタンを押すと、メトロノームが停止します。

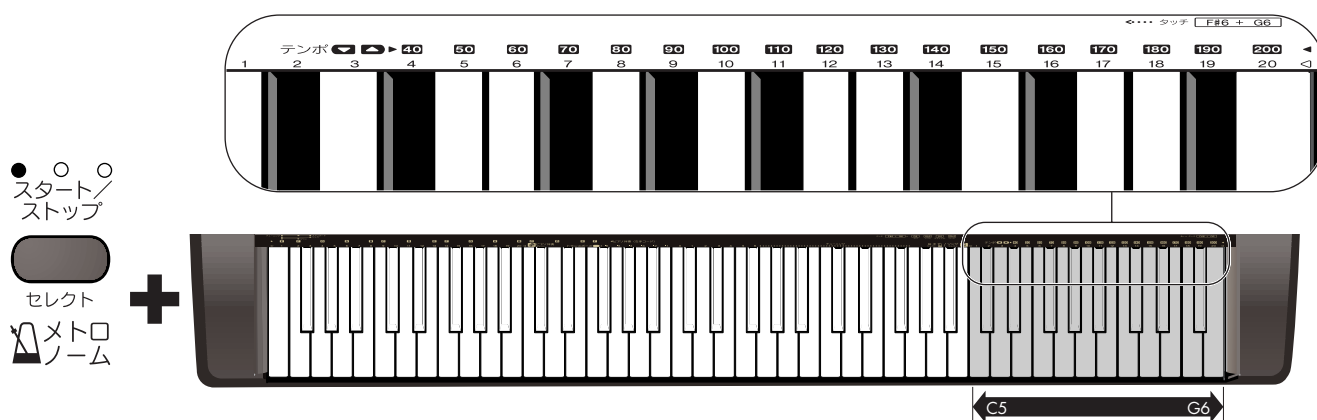
メトロノームの拍子設定

演奏する曲に合わせて、メトロノームの拍子を変更することができます。4分音符を基本にしたさまざまな拍子を選ぶことができます。

NOTE ピアノ伴奏のパターンやソングを選ぶと、自動的にそれぞれのパターンやソングに設定されている拍子に切り替わります。

設定のしかた

メトロノームボタンを押しながら、拍子鍵域の1～20拍子に対応した鍵盤(C5～G6)を押して、設定します。



鍵盤名	拍子(パネル表示)	拍子
C5	1	1拍子 (アクセントなし)
C#5	2	2/4
D5	3	3/4
E♭5	4	4/4
E5	5	5/4
F5	6	6/4
F#5	7	7/4
G5	8	8/4
A♭5	9	9/4
A5	10	10/4
B♭5	11	11/4
B5	12	12/4
C6	13	13/4
C#6	14	14/4
D6	15	15/4
E♭6	16	16/4
E6	17	17/4
F6	18	18/4
F#6	19	19/4
G6	20	20/4

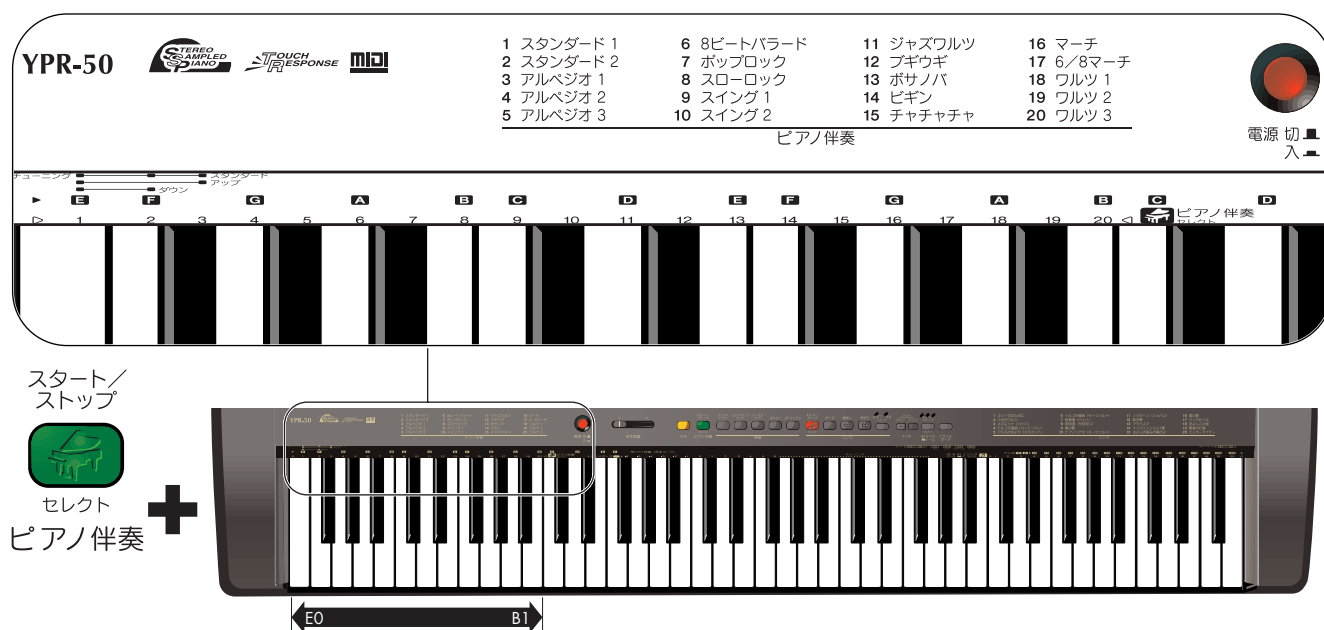
ピアノ伴奏機能

ピアノ伴奏機能とは、伴奏鍵域でコードを指定するだけで、ピアノ伴奏が自動的に鳴り出す機能です。シンプルな左手の和音演奏で簡単にピアノ伴奏を作り出せますので、あとはピアノ伴奏に合わせて右手でメロディを演奏するだけで、豪華なアンサンブル演奏をお楽しみいただけます。20種類のさまざまなピアノ伴奏のパターンが用意されています。

ピアノ伴奏のパターンを選んでピアノ伴奏をスタート

① 鳴らしたいピアノ伴奏のパターンを選ぶ

ピアノ伴奏ボタンを押しながら、伴奏ナンバー1～20に対応した鍵盤(E0～B1)を押して、鳴らしたいピアノ伴奏のパターンを選びます。これで、ピアノ伴奏の待機状態になります。



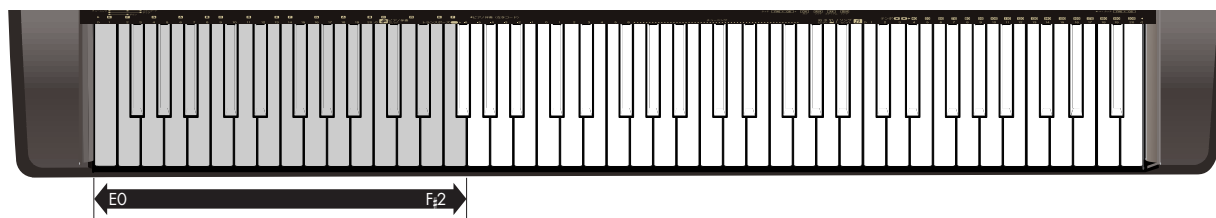
NOTE ピアノ伴奏のパターンを選ぶたびに、それぞれのパターンに最適なテンポ(初期テンポ)が自動的に設定されるようになっています。パターン選択後にピアノ伴奏のテンポを自由に変更することができます。テンポの変更についてはP.15、21をご参照ください。

NOTE ピアノ伴奏ボタンだけを押した場合、以前に選ばれていたピアノ伴奏のパターンで待機状態になります。

NOTE ピアノ伴奏の待機状態で、もう一度ピアノ伴奏ボタンを押すと、ピアノ伴奏の待機状態は解除されます。

② 選んだピアノ伴奏をスタートする

伴奏鍵域で和音を弾くと、自動的にピアノ伴奏がスタートします。ピアノ伴奏に合わせて、伴奏鍵域以外の鍵域でメロディを演奏します。



NOTE 和音の押さえ方について詳しくは後述(P.24)をご参照ください。

NOTE ピアノ伴奏中に、ピアノ伴奏ボタンを押しながら伴奏ナンバー1～20に対応した鍵盤(E0～B1)を押して、別のピアノ伴奏パターンに変更することもできます。

③ ピアノ伴奏をストップする

ピアノ伴奏ボタン、またはスタート/ストップボタンを押すと、短いエンディングパターンでピアノ伴奏が停止します。



和音の押さえ方

ピアノ伴奏の和音の押さえ方には、シングルフィンガーとフィンガードの2種類があります。シングルフィンガーは簡単な和音の押さえ方でピアノ伴奏を行なう方法、フィンガードは通常の和音の押さえ方でピアノ伴奏を行なう方法です(下記参照)。どちらの押さえ方を使用した場合でも、YPR-50はマルチフィンガリングという機能によって、自動的にコードを検出します。

シングルフィンガー

伴奏鍵域で簡単な押さえ方をするだけで、ピアノ伴奏が鳴ります。1本の指でメジャーコード、2本の指でマイナーコードやセブンスコード、3本の指でマイナーセブンスコードのピアノ伴奏をすることができます。

シングルフィンガーの押さえ方

押さえたい和音のルートキー(根音)といくつかの鍵盤を組み合わせると次の4種類の和音を作ることができます。

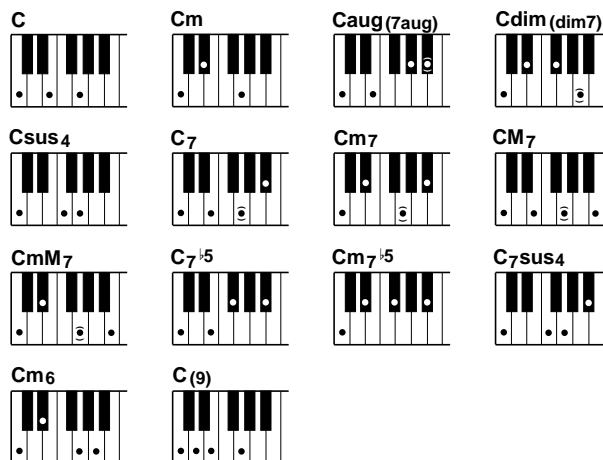
C 	メジャー(M)コード: ルートキー(根音)を押さえてください。
Cm 	マイナー(m)コード: ルートキーと、ルートキーより左側の黒鍵を同時に押さえてください。
C7 	セブンス(7)コード: ルートキーと、ルートキーより左側の白鍵を同時に押さえてください。
Cm7 	マイナーセブンス(m7)コード: ルートキーと、ルートキーより左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。

フィンガード

伴奏鍵域で一般的な和音の押さえ方をすると、自動的にコードが検出されピアノ伴奏が鳴ります。

フィンガードの押さえ方

自動的に認識される和音は各ルートキーに対して14種類ずつです。

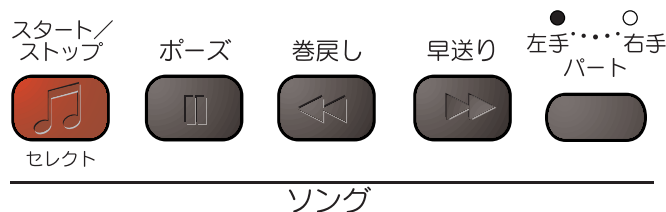


イラスト上でカッコ内の鍵盤は押さえなくても構いません。

- NOTE** コードはすべて基本形で書かれていますが、その転回形も有効です。ただし、以下の場合を例外とします。
- ・ m6とm7^b5はインターバル(押鍵の間隔)が同じです。押鍵の最低音がm6の根音になっている場合m6とみなし、それ以外の転回形はm7^b5とみなします。
 - ・ aug、dim(7)は押鍵の最低音を根音とみなします。
 - ・ 7^b5は押鍵の最低音を根音または7とみなします。
 - ・ 7augはaug、dim7はdimとみなします。

ソングコントロール

ソングボタンを使って、CDプレーヤーのように簡単な操作でソングの再生をコントロールすることができます。



セレクト(スタート/ストップ)

このボタンは、1)特定のソングを選ぶ、2)選んだソングの再生をスタート/ストップする、という2つの役割を持っています。また、ピアノ伴奏機能時には、ピアノ伴奏の再生をストップする機能も持っています。

ソングの選択

セレクト(スタート/ストップ)ボタンを押しながら、ソングナンバー1~20に対応した鍵盤(C5~G6)を押して、鳴らしたいソングを選びます。続けてソングボタンから指を離すと、選んだソングの再生がスタートします。もう一度ソングボタンを押すと、ソングの再生がストップします。

選ばれているソングの再生スタート/ストップ

セレクト(スタート/ストップ)ボタンを押すと、現在選ばれているソングの再生がスタートします。ソングの再生中にこのボタンを押すと、ソングの再生がストップします。

ポーズボタン

ソングの再生中にポーズボタンを押すと、ソングは一時停止します。もう一度ポーズボタンを押すと、停止位置から再スタートします。

巻戻しボタン

ソングの再生中/停止中に問わず、巻戻しボタンを押すと(または押しっぱなしにすると)、小節単位でソングを巻戻します。再生中に巻戻しボタンから指を離すと、その小節位置からソングが再スタートします。

早送りボタン

ソングの再生中/停止中に問わず、早送りボタンを押すと(または押しっぱなしにすると)、ソングを早送りします。再生中に早送りボタンを押すと高速再生しながら早送りします。

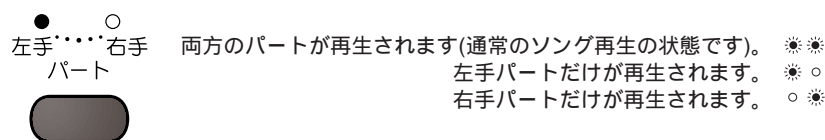
NOTE 一時停止中に巻戻し/早送りボタンを押すと、小節単位でソングの位置を移動します。ソングボタンを押すと、移動した小節位置からソングの再生がスタートします(この場合、一時停止ボタンで再スタートすることはできません)。

NOTE 巻戻し中には、ソングは再生されません。

パート(左手/右手)のオン/オフ

ソングの左手パートと右手パートを別々に再生させることができます。たとえば、左手パート(伴奏パート)だけを再生させ、それに合わせて右手パート(メロディ)を練習する場合などに便利です。

パートボタンを押すたびに、両パート再生(通常の状態) 左手パート再生 右手パート再生と3つの再生方法が切り替わります。現在どの再生方法が選ばれているかは、パートランプの点灯で確認することができます。



NOTE ソングの再生中/停止中に問わず、再生方法を切り替えることができます。

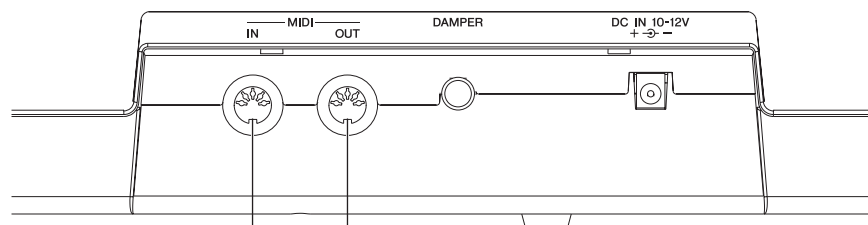
NOTE (デモボタンによる)デモソングの再生中にパートボタンを押すと、デモ再生(20ソング連続再生)の状態を抜けて、通常のソング再生(選んだソングの再生)の状態になります。

MIDI

YPR-50のリアパネルにはMIDI端子(MIDI IN/OUT)があります。MIDI機能を活用することにより、YPR-50の機能を拡張することができます。

MIDIについて

MIDI(ミディ)とは、「Musical Instrument Digital Interface」の略で、「電子楽器間のデジタル通信」という意味です。MIDIは電子楽器どうし(またはコンピュータなどと)で演奏情報や音色情報のやりとりをするために生まれた世界共通の規格です。複数のMIDI楽器(機器)をケーブルで接続すれば、機器間でさまざまな演奏情報が送受信でき、より高度な演奏が可能になります。



MIDI IN端子：
他のMIDI機器からMIDI信号を受信します。

MIDI OUT端子：
YPR-50の演奏情報をMIDI信号として他のMIDI機器へ送信します。

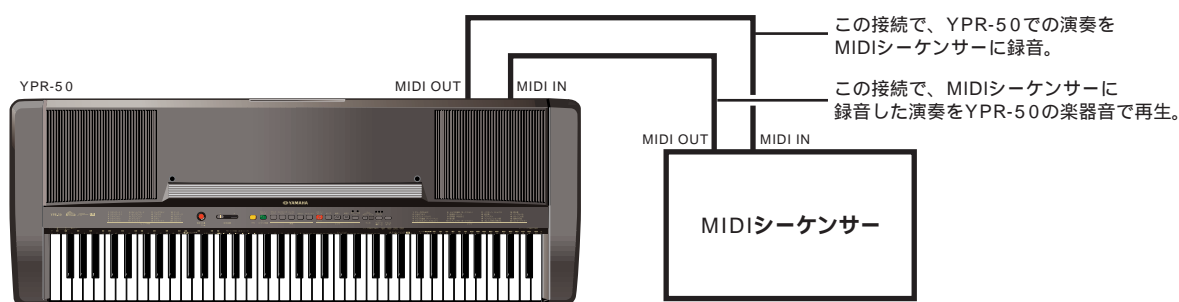
NOTE MIDI機器の接続には専用のMIDIケーブルが必要です。楽器店などで買い求めください。

NOTE 長いケーブルを使用すると、エラーが生じる場合があります。ケーブルは15m以内のものをご使用ください。

MIDIを使ってできること

下の図のように、YPR-50とMIDIシーケンサーを接続することにより、YPR-50での演奏をMIDIシーケンサーに録音したり、MIDIシーケンサーに録音した演奏をYPR-50の楽器音で再生することができます。

MIDIシーケンサーに録音を開始する前に、YPR-50のピアノ伴奏ボタンを押して、現在のYPR-50の設定状態を送信(録音)してから演奏を開始します。設定状態を録音する事により再生時に録音時と同じ状態で再生されます。



NOTE YPR-50では、MIDIチャンネル1～7までの送受信が可能です。なお、MIDI送信チャンネルのデータは以下の内容に固定されています。

- Ch1：キーボード
- Ch2：ベース
- Ch3：コード
- Ch4～7：その他

NOTE YPR-50は独自の音色配列を採用しているため、YPR-50での演奏をMIDIシーケンサーに録音した場合、再生時にはYPR-50で再生することをおすすめします。他の音源では正しく再生されない場合があります。また、YPR-50での演奏とオクターブずれて再生される場合があります。

NOTE ソングの再生中または再生後は、MIDIデータは送受信されませんので必ずピアノ伴奏ボタンを押してください。

ピアノ伴奏の初期テンポ

ピアノ伴奏	テンポ(初期値)
スタンダード1	108
スタンダード2	108
アルペジオ1	64
アルペジオ2	112
アルペジオ3	88
8ビートバラード	68
ポップロック	116
スローロック	64
スイング1	152
スイング2	152
ジャズワルツ	120
ブギウギ	160
ボサノバ	140
ビギン	120
チャチャチャ	124
マーチ	120
6/8 マーチ	120
ワルツ1	160
ワルツ2	88
ワルツ3	116

故障かな？と思ったら

現象	原因	解決方法
電源入/切スイッチを押した時に、ポツンという音がする。	本体に電流が流れるためです。	故障ではありません。
音が歪んだり、突然出なくなったりする。電源を入れた時の状態に戻る。	電池が消耗しています。	電池を交換してください。
YPR-50から雑音が出る。	YPR-50の近くで携帯電話を使っている（または呼び出し音が鳴っている）。	YPR-50の近くでは携帯電話の電源を切ってください。YPR-50の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。
音が出ない。	PHONES/OUTPUT [ヘッドフォン/外部出力] 端子に、ヘッドフォンなどのプラグが接続されています。	ヘッドフォン（プラグ）を抜いてください。
押さえる鍵盤によって音質や音量が異なる。	楽器音によっては、リアルな楽器表現を可能にするために、鍵域をいくつかに分けて楽器音をサンプリングする「マルチサンプリング」という方法で作られたものがあります。それらの楽器音は、音域によって音質や音量が若干異なる場合があります。	故障ではありません。

仕様

鍵盤	レギュラーサイズ76鍵(E0～G6: タッチレスボンズ付)
コントロール	電源 入/切スイッチ、全体音量コントロール、デモボタン、テンポボタン、メトロノームボタン、トランスポーズボタン
ソング	20曲 ソングコントロール: スタート/ストップ、ポーズ、巻戻し、早送り、パート
楽器音	5音色(最大同時発音数32)
ピアノ伴奏	20スタイル ピアノ伴奏オン/オフ ピアノ伴奏コントロール: スタート/ストップ、セレクト マルチフィンガリング
全体設定	テンポ: 40～240 トランスポーズ チューニング
付属端子	DC IN 10-12V、PHONES/OUT PUT、DAMPER、MIDI IN/OUT
アンプ実用最大出力	電源アダプターPA-3B使用時 2.4W + 2.4W (EIAJ) 乾電池使用時 1.6W + 1.6W (EIAJ)
スピーカー	12cm x 2
使用電池	単1乾電池(1.5V) x 6
電池寿命	マンガン電池で約30時間 (デモ演奏連続使用: 全体音量約70%)
使用電源アダプター	PA-3B 定格電圧10-12V 定格電流700mA
消費電力	電源アダプターPA-3B使用時 13W
寸法 (スタンド付き、譜面立て取り外し時)	1188 x 485 x 780 mm (幅 x 奥 x 高)
重量 (スタンド付き、譜面立て含まず)	13.8 kg
付属品	電源アダプターPA-3B、譜面立て、キーボードスタンド、フットスイッチFC5、取扱説明書、ソングブック、保証書

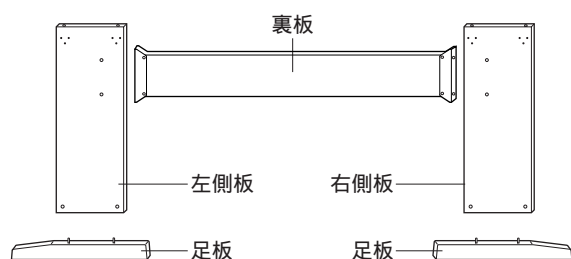
*仕様および外観は、改良のため、予告無く変更する場合があります。

オプション(別売)商品のご紹介

ヘッドフォン	HPE-150	¥4,000
フットスイッチ	FC4	¥3,000
MIDIケーブル	MIDI-03(3m)	¥1,100

商品の金額には、消費税は含まれておりません。

キーボードスタンドの組み立て方



① 6 x 70 mm ネジ(頭丸) × 4

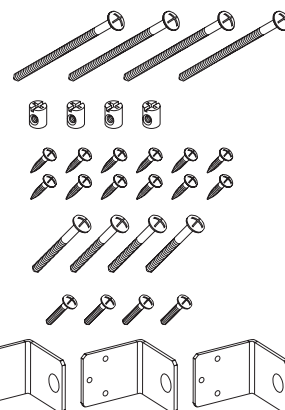
② ジョイントコネクター × 4

③ 3.5 x 16 mm タッピング ネジ × 12

④ 6 x 30 mm ネジ(頭丸) × 4

⑤ 5 x 16 mm ネジ(頭丸) × 4

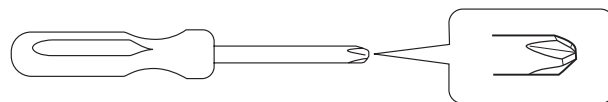
⑥ L金具 × 4



部品をまちがえたり、向きをまちがえないように注意して、手順どおりに組み立ててください。
ネジは指定のサイズ以外のもは使用しないでください。サイズの違うネジを使用すると、製品の破損や故障の原因となる場合があります。
組み立て後ネジは、ゆるみがないようきつく締め直してください。
スタンドを分解するときは、組み立てと逆の手順で行なってください。

① すべての部品を取り出します。
部品がすべてそろっているかを確認します。

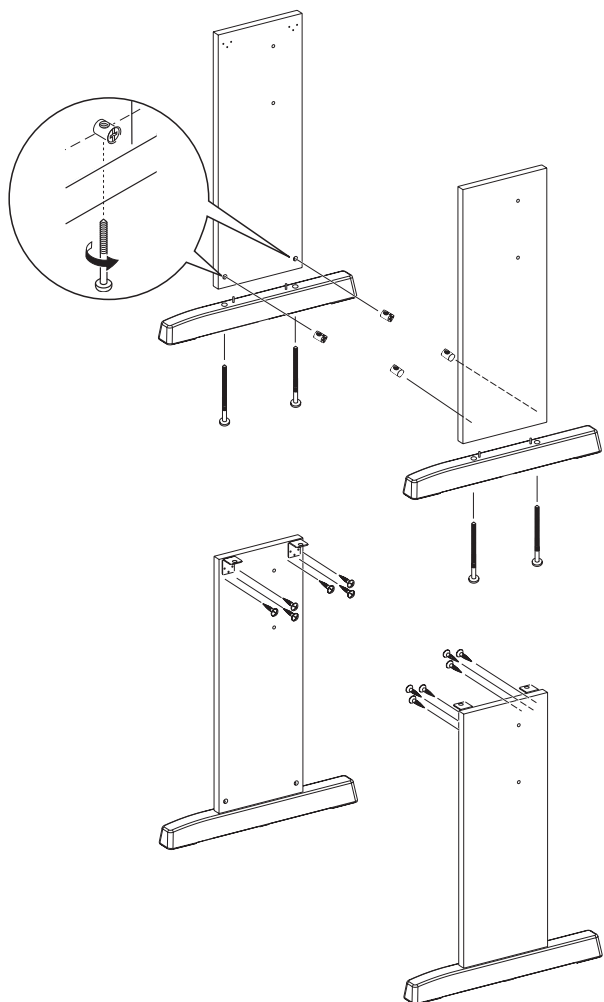
② プラス(+)のドライバーを用意します。



③ 左右の足板を固定します。
②のジョイントコネクターを左右の側板に差し込みます。ジョイントコネクターはプラスの面が外から見える方向に差し込みます。

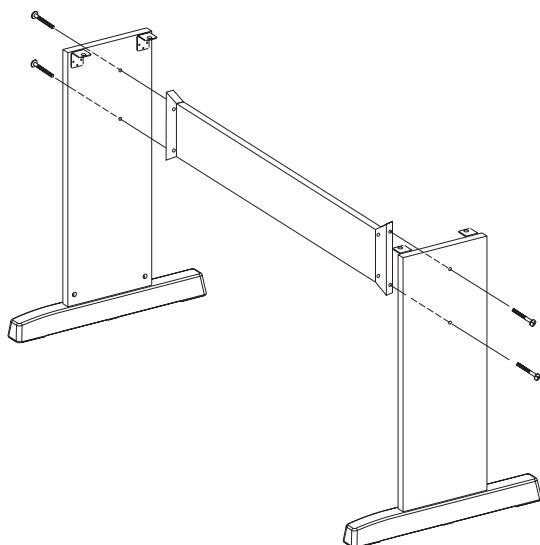
左右の側板はジョイントコネクターが内側になる位置に合わせて置いてください。
足板を①のネジで固定します。

④ L金具を固定します。
⑥のL金具を③のネジで固定します。



⑤ 裏板を固定します。

裏板を④のネジで固定します。

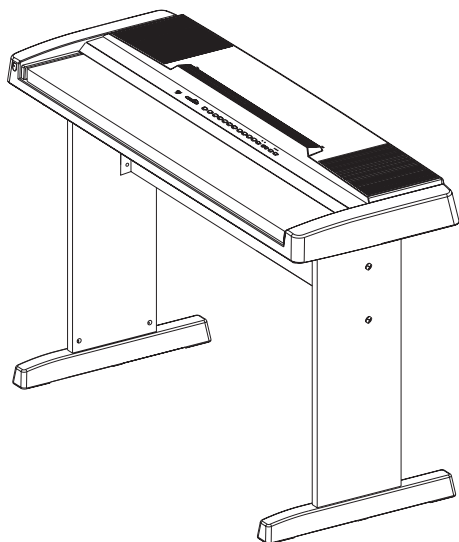


裏板を落としたり、金具部分に触れてけがをしないようにしてください。

⑥ スタンドに楽器をのせます。

注意して楽器をスタンドにのせます。

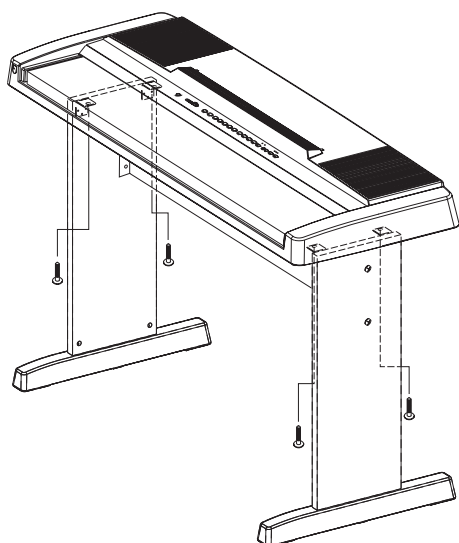
L金具の穴と楽器の下側の穴が合うように、ゆっくりと楽器の位置を調節してください。



指をはさんだり、楽器を落としたりしないよう、十分ご注意ください。

⑦ 楽器をスタンドに固定します。

⑤のネジで楽器を固定します。

**組立チェックリスト**

組み立て後、必ず以下の点をチェックしてください。

- ・部品が余っていませんか？
組み立て手順を再確認してください。
- ・部屋のドアなどにあたりませんか？
あたらぬ位置に移動してください。
- ・楽器/スタンドがゆれませんか？
ネジを確実に締めてください。
- ・使用中に楽器がきしむ、横ゆれする、グラつくなどの症状がでたら、組み立て図にしたがって各部のネジを締め直してください。

MIDIインプリメンテーションチャート

[Portable Keyboard] / Model: YPR-50

Date:10. May1999

Version: 1.0

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1-7,10 ×	1-7,10 ×	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	3 ×	3 ×	
ノートナンバー	電源ON時 音域	0-127 *****	0-127 0-127	
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	○ 9nH, v=1-127 *1 ○ 9nH, v=0	○ 9nH, v=1-127 ○ 9nH, v=0 or 8nH	
アフタータッチ	キー別 チャンネル別	×	×	
ピッチベンダー		×	×	
コントロール・チェンジ	0, 32 1 6, 38 7 10 11 64 66 84 91 96 97 100, 101 120 121	○ *2 ×	○ *2 ×	バンクセレクト MSB, LSB モジュレーションデプス データエントリー MSB, LSB ボリューム パン エクスプレッション サステイン ソステヌート ポルタメントコントロール リバーブデプス RPN Inc RPN Dec RPN LSB, MSB オール サウンド オフ リセット オール コントローラー
プログラムチェンジ	設定可能範囲	×	○	
システムエクスクルーシブ		○ *3	○ *3	
コモン	ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	×	×	
リアルタイム	クロック コマンド	×	×	
その他	ローカル・オン/オフ オール・ノート・オフ アクティブ・センシング リセット	×	×	
備考	<p>*1 送信するベロシティの値(音量の値)は、鍵盤を弾く強さが同じでも、選択されているボイスによって異なります。 *2 プログラムチェンジ・プログラムチェンジを受信しても、本体パネルで選ばれている音色は変わりません。 *3 エクスクルーシブ <GMシステムオン> F0H,7EH,7FH,09H,01H,F7H ・すべてのデータの設定値を初期設定値に戻します。 *4 ソングがオンの時、MIDI送受信はできません。</p>			

モード1：オムニ・オン、ポリ
モード3：オムニ・オフ、ポリ

モード2：オムニ・オン、モノ
モード4：オムニ・オフ、モノ

○：あり
X：なし



保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日から1年間です。

保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ポリウムコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

ヤマハ電気音響製品サービス拠点 (修理受付および修理品お持込み窓口)

北海道サービスセンター	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50	ヤマハセンター内	TEL. 011-512-6108
仙台サービスセンター	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7	仙台卸商共同配送センター3F	TEL. 022-236-0249
首都圏サービスセンター	〒211-0025	川崎市中原区木月1184		TEL. 044-434-3100
浜松サービスセンター	〒435-0048	浜松市上西町911	ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL. 053-465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2	ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL. 052-652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16	ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL. 06-6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7	(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL. 087-822-3045
広島サービスセンター	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14		TEL. 082-874-3787
九州サービスセンター	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4		TEL. 092-472-2134
[本社] カスタマーサービス部	〒435-0048	浜松市上西町911	ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL. 053-465-1158

住所および電話番号は変更になる場合があります。

ポータブル楽器に関するお問い合わせ窓口

クラピノーバ・ポータブル楽器インフォメーションセンター 〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL. 053-460-5272
受付日 月曜日～金曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)
受付時間 10:00～12:00 / 13:00～17:00

電子楽器事業部 営業部

国内営業第二グループ	〒430-8650	静岡県浜松市中沢町10-1		TEL. 053-460-3275
EM東京事業所 企画課	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11		TEL. 03-5488-5476
EM北海道営業所	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1-1-50	ヤマハセンター内	TEL. 011-512-6113
EM仙台営業所	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10	住友生命仙台青葉通ビル	TEL. 022-222-6147
EM大阪事業所 第二営業課	〒542-0081	大阪市中央区南船場3-12-9	心斎橋プラザビル東館	TEL. 06-6252-7491
EM名古屋営業所	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28		TEL. 052-201-5199
EM広島営業所	〒730-8628	広島市中区紙屋町1-1-18		TEL. 082-244-3749
EM九州営業所	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4		TEL. 092-472-2130

住所および電話番号は変更になる場合があります。

インターネットホームページのご案内

製品等に関する情報をホームページ上でご案内しております。ご参照ください。

・ヤマハ株式会社のホームページ <http://www.yamaha.co.jp/>



MEMO

ヤマハ株式会社